

妊娠中のお母さん

特に兄弟児がいる妊婦さん・子どもと関わる職業の妊婦さん



上の子のお世話をする時、食べ残しを食べていませんか
よだれ・鼻水・おしっこを触ってしまった時、ちゃんと手を洗っていますか

母子感染を起こす サイトメガロウイルスに注意しましょう!!

サイトメガロウイルスは世界中、どこにでもいるウイルスです。身边に存在するウイルスなのに感染率が低いというだけであまり知られていません。感染源の多くは、ウイルスに感染している子どもから移る事です。ウイルスを持っている子どもは数年間にわたって尿や唾液からウイルスを排泄させます。つまり、上の子などがいてこの時期に関わる妊婦さん、そして、保育士など子どもと接する職業に就いている妊婦さんは気付けなければいけません。ほとんどの人が幼小期に感染していて、感染保有率は高いですが、近年抗体を持っていない人が増えてきています。健康な人が感染しても問題はありませんが、妊娠中に感染すれば、まれに母子感染を起こし赤ちゃんの脳や視力、聴力に障害が残る恐れがあります。感染しても無症状の子もいて後遺症の重さもそれぞれです。生まれた時に何もなく大きくなるにつれて難聴になったり、視力が落ちる事もあります。早産や生まれてすぐに七ヶ月で赤ちゃんもいます。母子感染を起こす代表的なものに、風疹・水痘・おたふく風邪などがあります。これらには全て症状があります。しかし、サイトメガロにはほとんど症状はありません。なので気付かないうちに感染してしまいます。感染予防できるワクチンは現段階ではありません。抗体検査も自費で任前の為、知らないままや受けないままの人が多いのです。妊娠中にもし感染していると分かれば、生後早期に治療が受けられ、発達遅滞や難聴の予防に効果があるとされています。つまり、抗体検査の必要性が高いということです。確率が低いから大丈夫ではありません。それはウイルスがある事すら知らず、我が子に感染させてしまい後悔している母親は沢山います。どうかその1人にならないで下さい。予防策はサイトメガロウイルスという危険なウイルスを知る事、子どもの食べ残しを妊娠中は食べない事、こまめに手洗いをする事、そして、抗体検査を自ら進んで受ける事です。

知識は予防に繋がります

周りの妊婦さんにぜひ教えてあげて下さい。この他にも違う感染経路があります。母子感染するウイルスは他にもあります。気になる人は検索を

